

令和6年度 国東市立富来小学校 学校経営方針

基本方針

憲法及び教育関係法規に基づき、全教職員の主体的な経営参画と家庭・地域との連携を通して、①確かな学力の向上②豊かな心の育成③たくましく生きるための健康と体力向上など、「知・徳・体」の調和を図りながら、『生きる力』をもつ子どもを育成し、21世紀を担う平和で民主的な国家及び社会の形成者としての人格の形成をめざす。

本校の教育目標

思いやりの心で 伝え合い・学び合い 共にチャレンジしていく富来っ子の育成

めざす子ども像

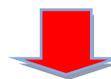
- 【「確かな学力」の向上】○主体的・協働的に学ぶ子○自分の思いを表現できる子○学習規律・習慣を身に付けた子
- 【「豊かな心」の育成】○思いやりのある子○元気よくあいさつできる子○地域に誇りをもてる子
- 【「健康と体力」の向上】○体力づくりにがんばる子○責任をもってやりとげる子○進んで運動する子

めざす学校像

- ★子どもの力と意欲を伸ばす学校
- ★目標の実現に向け、活気に満ちた学校
- ★安心安全な楽しい学校

めざす教職員像

- 実践的指導力のある教職員
- 使命感にあふれ、豊かな人間性をもつ教職員
- 創造的に未知の課題に立ち向かう教職員
- 学校組織の一員として考え行動する教職員



今年度の重点目標

「確かな学力」の向上・「豊かな心」の育成・「健康と体力」の向上

<学校の取組>

- ◇基礎的・基本的な学力の定着
 - ・「富来っ子学習の手引き」にそった家庭学習の取組と確実な見取り
- ◇考えをもち、伝え表現する活動の保障
 - ・考えを伝え合い、表現し合う場の設定
- ◇あいさつ運動の推進
 - ・児童会による「あいさつ」の取組の工夫
- ◇人間関係づくりプログラムを取り入れた積極的生徒指導
 - ・学級や学校の共感的な人間関係づくりやその改善
- ◇日常的に運動に親しみ、楽しもうとする意欲の育成
 - ・多様な動きや遊びを経験させる体力アップ集会の企画
- ◇体育の時間における運動量の確保

<家庭・地域の取組>

- ◇家庭学習（宿題）の習慣化
 - ・宿題の確認による習慣化の働きかけ
- ◇（GT等による）教育活動への参加
 - ・学びの教室など
- ◇家庭でのあいさつ運動
 - ・家庭内での3つの「あいさつ」運動と振り返り
- ◇「読み聞かせ」の計画的な支援活動
- ◇基本的な生活習慣（十分な睡眠）の確立
 - ・子どもと決めたメディアコントロールの取組

※児童アンケート・保護者アンケート・教職員アンケート等から評価する。
※年間4回開催の学校運営協議会で検証し、改善方策を検討する。

学校・家庭・地域が協働するコミュニティ・スクールの推進

今年度の学校評価の4点セット

①重点目標	②達成指標	分担	③重点的取組	④取組指標
「確かな学力」の向上	<ul style="list-style-type: none"> ●毎回の単元テスト(国・算・理)のクラス平均点がA評価となる割合が単元全体の80%以上 ●(学期末)児童アンケート「自分の思っていることや考えていることを、相手に分かるように伝えていきます」の項目の肯定評価75%以上 	学校	基礎的・基本的な学力の定着	(学級・教科)担任は、「富来っ子学習の手引き」にそった家庭学習を毎日取り組ませ、必ず見取りをする。 →教職員自己評価90%以上
			考えをもち、伝え表現する活動の保障	授業者は、「考えを伝えあい、表現し合う」場を単元の8割以上で設定する。 →授業改善チェックシート80%以上
	家庭	家庭学習(宿題)の習慣化	家庭は、可能な範囲で宿題を確認し、家庭学習の習慣化に向けて働きかける。 →保護者アンケート55%以上	
	地域	(GT等による)教育活動への参加	地域は、協育コーディネーターや学校の依頼を受け、GTとして学校の教育活動へ積極的に参加する。	
「豊かな心」の育成	<ul style="list-style-type: none"> ●(学期末)児童アンケート「『1人も見捨てない』を合言葉に、友だちのことを考えて行動しています」の項目の肯定評価80%以上(新規) ●(学期末)児童アンケート「合言葉のようなあいさつをしています」の項目のA評価85%以上 	学校	あいさつ運動の推進	児童会担当は、児童会の「あいさつ」の取組の工夫を考えさせ、定期的(2か月に1回)にふりかえらせることで、児童のモチベーションマネジメントを行う。
			人間関係づくりプログラムを取り入れた積極的生徒指導	担任は、「人間関係づくりプログラム」を週1回以上実施し、学級や学校の共感的な人間関係づくりやその改善を進める。 →教職員自己評価45%以上(23年度実績:42.9%)
	家庭	「おはよう」「おやすみ」「ありがとう」の家庭でのあいさつ運動	家庭は、家庭内での3つの「あいさつ」運動を行い、2か月に1回ふりかえりをする。 →保護者アンケート90%以上	
	地域	「読み聞かせ」の計画的な支援活動	地域ボランティアは、「読み聞かせ」を毎週金曜日の朝の時間に計画的に取り組む。	
「健康と体力」の向上	<ul style="list-style-type: none"> ●(学期末)児童アンケート「体育の授業以外にも、休み時間など自分から進んで体を動かしています」の項目のA評価80%以上(新規) ●(学期末)児童アンケート「テレビ、ゲーム、スマホ等の使い方について、おうちの人の約束を守っています」の項目の肯定評価80%以上 	学校	日常的に運動に親しみ、楽しもうとする意欲の育成	体育主任は、多様な動きや遊びを経験させる体カアップ集会を、月1回(年間8回以上)企画する。
			体育の時間における運動量の確保	授業者は、体育の時間(保健以外)に運動する(体を動かす)時間を30分以上確保する。 →教職員自己評価75%以上(新規)
	家庭	基本的な生活習慣(十分な睡眠)の確立	家庭は、子どもと決めたメディアコントロールに取り組み、2か月に1回ふりかえりをする。 →保護者アンケート55%以上	



育成を目指す資質・能力
自分の考えを持ち表現する力、他者と協働する態度、自己管理能力